



ハカルワカル広場だより

八王子市民放射能測定室

第 24 号

2018. 2. 16発行

発行元 八王子市民放射能測定室 ハカルワカル広場
〒192-0053 八王子市八幡町 5-11 八中ビル2F

URL: <http://hachisoku.org> E-mail: hachisoku@gmail.com 電話: 042-686-0820

郵便振替口座: 00180-8-290904 八王子市民放射能測定室

「浜岡原発現地から」

浜岡原発を考える会／ハカルワカル広場維持会員 伊藤 実

昨年9月は浜岡原発受け入れ50年ということで私もメディアの取材を受け、中部電力幹部も家に来た。「絶対安全」の掛け声で始まった浜岡原発だが、相次ぐトラブルや福島第一原発大事故で安全神話は崩壊、現在停止中である。中電幹部は「皆様の理解が得られれば再開したい」と言うが、世間は脱原発に向かっていて特に東海大地震の震源域に建設された浜岡原発は永久に停止すべきである。

昨年は4月八王子市民の3回目の浜岡原発視察に続き東京、神奈川、愛知市民の視察の案内をした。暮れには御前崎市立図書館で福島の現場の写真展が開催され、報道の影響もあり多数の市民が来場した。原発問題を語る事さえタブーであったこの町も様変わりしたものである。12月19日「浜岡原発を考える静岡ネット」の一員として浜岡原発事務所に放射性廃棄物の量と保管状態、乾式貯蔵庫、使用済燃料の処分の責任、神戸製鋼等の品質問題等申し入れをした。静岡市や藤枝市等より参加した人達の車のナンバーを警備員達が写真に撮り始めた。反対派と分かった車は必ず記録するのだ。交渉は写真撮影への抗議から始まったが対応した中電側は広報と総務の二人だけ。新聞記者は閉め出し暖房もない小部屋で名刺も渡さない。写真も不可。極めて冷淡無礼な対応であった。

中電が招待した見学者にはお茶や弁当まで出ると聞く。原発の安全神話が崩壊して世論が脱原発に向かっても、電力会社の姿勢は変わっていないことを実感する日だった。

浜岡全面停止からもう7年近い。この間私の住む町は様変わりした。増え続ける自然再生エネルギーの発電、全国一と言われるメガソーラーがまだまだ増え続ける。海岸線には風力発電、更に市内3か所でバイオマス発電が計画されている。原発に替わる新しい電力供給基地に変貌している。地産地消はすでに実現し、この町で発電した電力は各地へと送電されている。原発依存から脱却し、新たな産業が生まれたのである。

新年早々嬉しいニュースがあった。脱原発や自然エネルギーを推進する民間団体、原自連が「原発ゼロ、自然エネルギー基本法案」の制定を目指すと言う。小泉氏や細川氏のような保守政治家に限らず私の知る自民党政治家にも同じような考えの人は多い。原発利権に頼る安倍政権では表に出てこないと思う。浜岡原発現地で起こっているエネルギー革命を全国に拡大すれば脱原発はすぐ実現する。



「原発ゼロ、新エネルギー法」の機運が高まる中で、正月早々川勝平太静岡県知事が6年ぶりに浜岡原発を視察した。昨年7月圧倒的な支持を集め三選された川勝知事は、視察後記者団の取材にあらためて「再稼働はできない」と明言した。1～2号機は廃炉、使用済核燃料は3～5号機で6542体でプールで保管中である。最大保管容量は7550体だ。プールでの保管は危険である。中電は乾式貯蔵庫を計画しているが地盤が悪く耐震設計ができないと言う。

1、2号機で廃炉解体中の放射性廃棄物は敷地内地に溜まり続けている。一昨年から八王子ハカルワカル広場で測定してもらったゼオライトにも微量ながらセシウム137が検出された。我が家の雨樋の下に置かれたゼオライトを客人たちに問われるが、説明すると廃炉作業も慎重にすべきだと言う。居間に置かれた放射線検知器R-DAN(注)とゼオライトは我が家の放射線監視の役割を果たしている。

昨年10月に八王子で開催された「おしどりマコ&ケン」の講演が4月21日に静岡でも開催される。私が感銘を受け「浜ネット」に推薦して決まった21回総会の記念講演だ。

(注：放射線検知器R-DANは、Radiation Disaster Alert Networkの略で、チェルノブイリ原発事故後の1986年8月6日以降、原発周辺の放射線を監視し、原発事故が起きたときに、放射線から身を守るための市民のネットワーク)



福島現状を伝える写真展



中電への申し入れ

浜岡原発見学後、
浜ネットの皆さんと交流



ボランティアスタッフ紹介



ハカルワカル広場だより「編集チーム」：西田照子、北澤公枝、石井暁子、佐々木晃介

西田照子：次号の企画を石井さんと話し合ったり、巻頭や「維持会員の声」の欄の寄稿をいろいろな方をお願いしたり、最後のページの「測定室からの報告とお知らせ」を担当しています。また、発行に関し、あて名シール、封筒印刷などをボランティアの金子恵子さんをお願いしています。編集チームの正確な仕事ぶりに多くを教えてもらっています。

北澤公枝：ハカルワカル広場だより第9号よりレイアウトを担当しています。読みやすくハカルワカル広場らしい紙面を心掛けています。皆さんと協力して作り上げることがとても楽しく、完成時には毎回達成感を味わえます！

石井暁子：「あのとき」に載せる新聞記事を見つけてコメントをつけたり、原稿の校正などを担当しています。3.11後の記事を図書館で探してコピーしたり、自分の切り抜きの中から探したりしてきましたが、そろそろ一通り出揃ったので新たな企画を始めようと思案中です。よいアイデアがあったらぜひ教えてください！

佐々木晃介：24号から編集に参加させていただくことになりました。これまでもチラシ作りやワード原稿の手直しなどを手伝っていました。真実を知り判断できるようになることを、みなさんと目指したいと思います。

維持会員の声

維持会員 江坂 千恵

東京五輪を決める重要なプレゼンにて、日本人女性フリーアナウンサーが使ったキーワードが「O・MO・TE・NA・SHI」（おもてなし）。日本人の誠実さを現す言葉として、世界に向けて発信された。皆さんの記憶にも未だ新しい事だろう。

それに引き換え日本政府の自国民に対する対応は、この懐の深い「おもてなし」と言う単語とは真逆な醜いものである。曰く「HI・TO・DE・NA・SHI」（人でなし）。

フクイチ事故は核過酷事故にも関わらず、「人的被害無し」故に、帰宅困難地域なのに避難指示を解除し、原発政策を未だ日本政府は推進している。大馬鹿にも程が有る。日本の大マスコミも日本政府に追随し、マスコミの本道・本義に悖る醜態を見せていて頭が痛かったが、今年1月14日茨城新聞社会面トップに、「関東に放射性粒子飛来」の大見出しの文字が踊った。地方紙とは言え、これ程大きな見出しが付いたのは、「フクイチによる被曝健康被害が大きい」と言うことなのだろう。

「NA・SHI・KU・ZU・SHI」（なし崩し）な原発政策を中止すべく、私達市井の人々がより強く声を上げて行かねば・・・との思いを新たにしたい。



測定結果 (2017 年 11 月～2018 年 1 月)

ゼオライトの測定値は初期値引き算前 (Cs134 の初期値は 30Bq/kg 程度)

検体	採取	県名	産地・採取地	検体重量 (g)	測定容器 (cc)	Cs137 (Bq/kg)	95%範囲 (±Bq/kg)	Cs134 (Bq/kg)	95%範囲 (±Bq/kg)	備考
側溝の土	2017. 11. 22	東京都	八王子市横川町	907	1000	540.0	108.0	102.0	20.0	
ゼオライト	2017. 10. 27	東京都	八王子市元本郷町	983	1000	502.0	100.0	104.0	21.0	元本郷A
ゼオライト	2017. 11. 10	東京都	八王子市小比企町	1,117	1000	398.0	80.0	84.2	16.8	小比企A
土	2017. 12. 07	神奈川県	相模原市橋本	869	1000	313.0	63.0	66.1	13.9	
ゼオライト	2017. 11	東京都	八王子市館町	742	1000	239.0	48.0	75.1	16.0	館町E
土	2017. 10. 14	埼玉県	小川町元気プラザ	603	1000	181.0	36.0	42.6	10.2	
土	2017. 10. 15	埼玉県	狭山市公園	291	1000	122.0	27.0	14.6	8.7	
ゼオライト	2017. 05. 11 ~	東京都	八王子市中野上町	1,116	1000	119.0	24.0	49.2	10.5	中野上町A
土	2017. 10. 12	東京都	世田谷区成城	660	1000	117.0	24.0	34.5	8.4	定点観測
ゼオライト	2017. 12. 08	東京都	八王子市川口町	929	1000	116.0	23.0	50.4	11.0	川口B
土 (庭の土 苔付)	2017. 11. 10	東京都	八王子市絹ヶ丘	656	1000	83.2	18.1	30.0	7.6	
ゼオライト	2018. 01. 20	東京都	昭島市玉川町	1,117	1000	76.4	16.0	41.1	9.0	
ゼオライト	2017. 11. 10	東京都	八王子市東浅川町	980	1000	72.7	15.6	45.2	9.9	東浅川B
ゼオライト	2017. 12. 08	東京都	八王子市川口町	964	1000	71.6	15.6	45.7	10.2	川口A
土	2017. 12. 10	東京都	八王子市石川町	1,006	1000	71.2	15.1	33.7	7.8	
ゼオライト	2017. 09. 06 ~	神奈川県	相模原市南区	982	1000	66.3	14.5	48.2	10.5	相模原B
ゼオライト	2017. 09. 06 ~	神奈川県	相模原市南区	1,107	1000	65.9	14.1	37.5	8.4	相模原A
原木シイタケ	2017. 11. 07	東京都	八王子市中山	156	1000	62.9	22.9	不検出	26.7 以下	自主測定
田んぼの土 真中	2017. 11	東京都	町田市相原町	888	1000	55.3	12.4	30.3	7.2	
土	2017. 12. 10	東京都	八王子市石川町	968	1000	54.0	12.0	27.7	6.7	
ゼオライト	2018. 01. 15	静岡県	御前崎市	914	1000	51.0	11.8	43.5	9.8	御前崎A
掃除機のゴミ	2017. 09 ~	東京都	八王子市絹ヶ丘	121	1000	46.5	20.3	37.2	17.9	60分測定
ゼオライト	2017. 10. 28	東京都	八王子市元本郷町	988	1000	43.5	10.2	43.3	9.6	元本郷A -
公園の土	2017. 11	東京都	日野市	1,491	1000	43.1	9.4	20.4	4.8	
庭の土	2017. 11. 25	東京都	八王子市長房町	1,198	1000	36.3	8.1	12.7	3.5	庭の土
田んぼの土 水口	2017. 11	東京都	町田市相原町	1,176	1000	35.2	8.1	20.2	5.0	
ゼオライト	2017. 11	東京都	八王子市館町	985	1000	30.9	7.8	37.9	8.6	館町A
キノコの佃煮	2017. 08. 29	山梨県	富士山	922	1000	30.9	7.2	7.0	3.0	
キノコの佃煮	2017. 10. 25	埼玉県	奥秩父	939	1000	30.8	6.7	3.9	2.0	60分測定
公園の土	2017. 11	東京都	八王子市小宮	1,502	1000	29.9	6.9	21.4	5.0	
ゼオライト	2017. 11. 08 ~	東京都	八王子市長房町	1,063	1000	29.5	6.6	37.0	8.3	長房A
キノコ (ムキタケ)	2017. 11. 08	宮城県	栗原市花山 (栗駒山)	1,039	1000	28.9	6.2	3.7	1.9	60分測定
ゼオライト		静岡県	御前崎市	983	1000	28.0	7.3	35.9	8.2	御前崎B
土	2017. 12. 07	東京都	八王子市小宮	1,517	1000	27.8	6.6	25.3	5.8	
ゼオライト	2017. 11	東京都	八王子市館町	909	1000	27.1	7.6	45.1	10.1	館町D
ゼオライト	2017. 11	東京都	八王子市館町	915	1000	26.2	7.4	49.6	10.9	館町C
キノコの佃煮	2017. 09. 21	埼玉県	秩父市	938	1000	21.6	5.3	不検出	4.0 以下	
キノコの佃煮	2017. 10. 12	埼玉県	秩父市	950	1000	21.3	5.3	不検出	4.0 以下	
ゼオライト	2017. 11	東京都	八王子市長房町	1,072	1000	20.6	6.0	37.5	8.4	長房A
ゼオライト	2018. 01. 20	東京都	昭島市宮沢町	1,049	1000	20.6	5.9	31.9	7.3	昭島A
ゼオライト	2017. 5 ~	東京都	八王子市川口町	1,160	1000	20.3	6.0	44.6	9.7	川口C
土	2017. 11	東京都	八王子市北野町	1,140	1000	16.1	4.6	15.5	4.2	
キノコの佃煮	2017. 9. 29	長野県	八ヶ岳	945	1000	15.0	3.8	3.7	1.9	60分測定
ゼオライト	2018. 01	東京都	立川市寺町	1,052	1000	11.1	4.6	31.6	7.3	寺町A
原木樹皮	2018. 01	東京都	日野市	781	1000	11.1	4.2	不検出	4.9 以下	
ゼオライト	2017. 11	東京都	八王子市館町	909	1000	10.3	5.3	42.2	9.5	館町B
ゼオライト	2017. 11	東京都	八王子市館町	1,096	1000	9.0	4.5	35.0	7.9	館町F
ゼオライト	2017. 12. 20 ~	東京都	八王子市横川町	1,045	1000	8.9	4.5	35.2	8.0	横川町
ゼオライト	2017. 12. 20 ~	東京都	八王子市高尾町	1,048	1000	4.5	4.0	31.7	7.3	高尾町
玄米	2017. 01	新潟県	村上市	853	1000	3.7	2.1	不検出	3.4 以下	60分測定



ハカってワかった話

二宮 志郎

2017 年データのまとめ

年初の号ですので、昨年のデータのまとめを紹介しておきます。まとめのデータは、ハカルワカル広場ホームページのカテゴリーの項目から「資料室」を選び、「測定結果まとめなど、資料的文書のリスト」から「2017 年測定結果単シートまとめ」を選ぶことで参照できます。おなじリストの中に、「開室以来測定結果まとめ」というものもあります。長期間の測定傾向を参照したい方はそちらもご覧ください。ハカルワカル広場では測定依頼者が持ち込んだ検体のみを測定しているので、その結果が必ずしも地域や検体カテゴリーの一般傾向を示しているわけではありません。この点は測定データを統計処理した結果を見る時には心に留めておいてください。

検出値年間トップの歴史

年	場所	検体	Cs137	Cs134	比率
2012	福島県	土	6750	5600	0.83
2013	福島県	土	9820	5260	0.54
2014	福島県	落ち葉	10800	4570	0.42
2015	八王子市	土	2270	764	0.34
2016	三郷市	土	7590	1520	0.20
2017	八王子市	土	16600	2790	0.17

(Cs137, Cs134 の単位は Bq/kg, 比率は Cs134/Cs137)

上の表に 2012 年からの年間測定データリストのトップに来たものをまとめてみました。トップに来るようなデータは、特別に汚染がひどくなっているような場所のデータなので、増えたり減ったりの数値は採取した場所のセシウム濃縮度に依存していて、かなり偶然に左右されています。2012 年に福島県土を測って合計で 1 万を超えてびっくりしたことを覚えています、それを Cs137 だけで超えてしまう検体が 2017 年の八王子にあったのですから、場所による濃縮というのはあなごれなないです。非常に濃縮の高い土はすでに適切に処理されているべきなのでしょうが、気がついてきてない場所はまだまだ

だあるでしょう。八王子市内の土からでも非常に高い汚染値が出てくることはこれから先も続くだろうと思われれます。

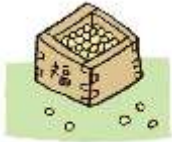
経時変化の方は Cs137 と Cs134 の比率にきちんと現れています。物理的な半減期の違いから出てくる比率の変化にほぼ近い変化が測定結果に現れています。2018 年は Cs134 は Cs137 に対して 2 割を切って 1 割に近づいていく状況になっていきますから、汚染値が低い検体ではほとんど不検出になっていくでしょう。

きのこ除く食品類の汚染はほぼ検出不能

喜ばしいことは、最近ではハカルワカル広場の測定器で検出できるレベルの汚染は、きのこを除く食品類にはほぼ見られなくなったということです。2017 年の測定データでは、きのこを除く食品類は 77 検体測定していて、そのうちセシウムの汚染が検出されたのは 2 検体だけです。そのうち 1 検体の玄米は不検出にしてもよいレベルの微妙な数値だったもので、残りの 1 検体は筍でした。

ハカルワカル広場の測定器で検出できないレベルの微量汚染に目をつぶるなら、きのこ類以外の食品に関しては、「ほぼ汚染はない」と考えてもよいでしょう。この状況は「汚染食品を流通させてない」という結果から来ているものから、「自然にそうやってきた」というよりも「多くの人たちの努力でそうすることができた」と考えたほうがいいでしょう。ハカルワカル広場のような市民測定所の存在もその努力の一旦を担っていると信じたいです。

ハカルワカルだよりの読者の人たちはみなさんご存知だと思いますが、ハカルワカル広場では「あの惨事を世界中のどこであろうとも、二度と繰り返さない」ということのためにできる測定活動はまだまだあると考えています。「きのこ以外の食品に関してはほとんど心配しなくてよくなった」というのを一つの通過点として、2018 年もみなさんの知恵をお借りしながら測定を続けていければと思っています。



2018 年 ハカルワカル広場総会報告

共同代表 西田 照子

2018 年 2 月 3 日（土）、2018 年ハカルワカル広場総会を開催しました。心配していた前日の雪も溶け、22 名の参加でした。2017 年の活動報告では、通常の測定活動、お茶会活動に加え、「おしどりマコ&ケンさん講演会」を 5 周年記念イベントとして実施し、大好評を博したことを報告できました。また、決算報告では皆様の寄付のおかげで前年の赤字から一転、黒字決算ができました（詳しくは同封の「2018 年総会報告」をご覧ください）。また、事務局提案の「2019 年度からの会計年度の変更」（現行の 1 月から 12 月を 4 月から 3 月までにする）と「会費の集金方法の変更」（4 月にその年度の会費を集めるに変更）も承認されました。これについては会員の皆様の不利益とならないよう、2018 年の 1 年を移行措置の期間とし、準備をしております。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。来年度の活動方針と予算も了承をいただき、和やかなうちに終了。いつも温かい、和やかな総会ができることを感謝しています。

終了後は、ハカルワカル広場の活動活性化のためのアイデア出し。模造紙の上に、参加者の方々が付箋に各自のアイデアを書き、次々と貼り付け、模造紙の上は付箋の海に。活気に溢れた意見交換会になりました。一例「現地の人の話を聞きたい」、「ママの放射能勉強会」など。このアイデアを発展させ実現させて、活動を活性化することが狙いです。（アイデアは別の機会にご紹介します）

2012 年 1 月 29 日の開室から 6 年。正直に言えば、「原発事故はなかったかのような風潮」に抗い、測定室活動を続けることは決して楽ではありません。でも、私たちの原点は「二度と福島原発事故を繰り返してはいけない」です。子どもたちの未来を守るために、測定活動、様々な啓発活動を続けていくこと、脱原発の声を上げ続けていくことをこの総会で改めて皆さんと再確認し、総会を終えました。（総会の詳細は同封の「2018 年総会報告」をご覧ください）



2018.02.03 総会后、アイデア出しのブレイン・ストーミングを終えて

あのとき

このとき始まった甲状腺検査は昨年末に3巡目を終え、手術をして甲状腺がんと確定した人は159名となっています。今年5月から始まる4巡目の検査のあり方について、12月25日に開催された第29回 福島県「県民健康調査」検討委員会では、過剰診断だとして検査を縮小すべきという意見と、検査の継続を求める意見が対立しました。では当事者のみなさんはどう考えているのでしょうか。「NPO法人3.11甲状腺がん子ども基金」が療養費給付事業の受給者のうち県民健康調査の対象となっている方に行った「甲状腺検査についてのアンケート」の結果が基金のホームページ (<http://www.311kikin.org/>) に掲載されているのでぜひご覧ください。

2011年10月10日 朝日新聞（この記事は朝日新聞社の許可を得て掲載しています）



8日公開された検査リハーサルで、医師は大学職員の前で甲状腺の超音波検査装置をあてた。福島市光が丘の福島県立医科大学

子ども甲状腺検査開始

福島 36万人対象 生涯継続

東京電力福島第一原発事故による放射線の影響を見守る福島県の健康調査で、18歳までの子ども全員を対象にした甲状腺検査が9日、福島県立医科大学（福島市）で始まった。2年半で36万人の検査を一巡させる。その後も定期的な検査を生涯続ける。

対象は震災当日に0〜18歳だった全県民で、県外に避難した人も含まれる。初日に検査を受けたのは、事故直後から高い放射線量が測定されている飯館村、浪江町、川俣町にいた子どもたちのうち、144人。ベッドで横になった子どもの首に医師が超音波検査

装置をあて、甲状腺の大きさやがんにつながるしこりの有無を確認。1人5分ほどで検査を終えた。結果は1カ月後に通知される。食品やちりから取り込まれた放射性ヨウ素は甲状腺に集まり、子どもの場合甲状腺がんの原因になりやすいとされている。一方、放射

■福島県の子ども甲状腺検査のスケジュール

1回目 (飯館村、浪江町、川俣町山木屋地区) (の約4900人)	11月13日までに県立医科大学で
1回目 (そのほかの約36万人)	今年11月下旬～2014年3月、学校、保健所などに派遣される検査チームが実施予定
2回目以降(20歳未満)	2年に1度
2回目以降(20歳以上)	5年に1度

親子募らす憤り

この日、検査を受けた子ども親たちは、不安を抑えきれないでいる。飯館村の母親(49)は、5歳から11歳の男の子4人と検査に来た。4〜6月の約2カ月を、放射線量が高い村で過ごした。8月に受けた内部被曝検査では、4人とも体に取り込まれた放射性セシウムの推計値から「健康への影響は心配ない」と説明され、安心していった。ところが、放射性ヨウ素はすぐに消

大丈夫と言ったのに…悔しき、東電に伝えたい

え、甲状腺の被曝量はわからないと後で知った。「大丈夫と言ったのに、甲状腺の検査は生涯続けるという。矛盾してませんか。いつになれば安心できるのか、いまだにわからない」5月末から福島市に避難する飯館村の父親(58)は長女(6)と長男(3)を連れて来た。「4、5年後、子どもにも異常が現れてきたら、東京電力を絶対許さない。直接本社に乗り込んで、この悔しさを伝えたい心境だ」と憤る。

浪江町の女性(38)は長男(9)と長女(7)の検査を終えた。原発事故後、放射性物質が風に乗って流れた同町津島地区に家族で避難していた。8月の内部被曝検査では、長女は検出限界以下だったが、長男は「1.5シーベルト未満の被曝」とされた。「子どもがかわいそうで、悔やみきれない」と涙を流す。「今回の甲状腺検査だけでは安心できない。継続して検査を受けさせたい」(林義則、斉藤寛子)





測定室からのご報告とお知らせ



*12月2日(土) 定例お茶会：第17回ハカルワカル映画会も兼ね、「チャルカ」を上映

12月定例お茶会は、「福島 六ヶ所 未来への伝言」の島田恵監督の第2作「チャルカ」を、ハカルワカル広場にて上映。「チャルカ」はインドの手紡ぎ機「糸車」のことだそうです。現在をどう生きればよりよい未来を紡げるか——その問いかけがこの映画を製作した島田監督からも発せられているようでした。「処分できないゴミを出し続ける原発をこのまま稼働してよいのか？ 未来へツケを残すのではないのか？」と。(参加者26名)

*1月13日(土) 定例お茶会：「持続可能な生活～ボランティアを通して伝えたいこと～」

担当は水曜日チームの小林恵美さん。小林さんは漆器づくりをされていて、漆にかかわる中で、「漆器は長く生活を潤してくれる」と実感し、「漆器づくりから持続可能な生活を考えたい。原発はものを大切に使いたいと思う私の考えとは真逆のもの」とお話しされました。お話の後、その実践例として「マイ箸づくり」をしました。自分の手に合う長さの「マイ箸」。材料を切り、ペーパーやすりをかけ、クルミ油(クルミ一粒をつぶして作る)を塗って出来上がり！参加者の表情が生き生きしていたのが印象的でした。終了後、「楽しかった！」の感想があちこちで。(参加者17名)

*2月3日(土)：2018年総会終了

2017年活動報告、決算報告、2018年活動方針、予算案などをご承認いただきました。詳しくは「総会報告」をご参照下さい。総会終了後「活動を活性化するにはどうすればよいか」のテーマで意見交流会をしました。活発な意見が出されました。(参加者22名、アイデア63件)

これからの予定



*3月3日(土)：第18回ハカルワカル映画会「わたしの、終わらない旅」

*4月7日(土)：定例お茶会「浜岡原発の地元で声をあげて」(講師：伊藤実氏)

世界で最も危険な原発と言われ、私たちに一番近い原発である浜岡原発の地元で、長く反対運動をされている伊藤実氏にその実践についてお話しいただきます。

*5月12日(土)：定例お茶会 映画試写会(上映作品未定)

重要なお知らせ！ 福島のことを知ろう！「福島視察ツアー2018」参加者募集

期日：6月16日(土)～6月17日(日) 一泊二日

費用：25,000円を予定(貸し切りバス使用)

内容：現地で放射能ゴミ焼却を考える運動をされている方たちのお話を聞くなどを考えています。

詳細は同封のチラシをご覧ください。



編集後記：三寒四温、寒さの中にも春を感じるようになりました。震災が突きつけた問いに答えられているのだろうか。原発事故でどのような問題が起こっているのかを正直に誠意をもって発信していく責務がある。自分たちの町はどうなのか、どのようにすれば安全なのかをもう一度問い直したい。(晃)

お知らせ

3月3日(土) 第18回ハカルワカル映画会

わたしの、終わらない旅

(詳細は同封のチラシをご覧ください)

映画会：開場 午後1時、上映1時30分～2時50分

意見交換会 2時50分～3時30分

会場：北野市民センターホール(京王線北野駅前)

入場料：前売り券1,000円 当日券1,200円

予約はハカルワカル広場へお電話(042-686-0820)

またはメール(hachisoku@gmail.com)で



ハカルワカル広場は維持会員の会費とボランティアで運営されています。

ハ王子市民放射能測定室
ハカルワカル広場

お電話 問合せ 042-686-0820

HP: <http://hachisoku.org> メール: hachisoku@gmail.com
【開室】火～金曜日:10時～15時、土曜日:10時～12時

ボランティア、維持会員募集中!

お問い合わせはハカルワカル広場まで

寄付も大歓迎です! ゆうちょ銀行 00180-8-290904(八王子市民放射能測定室)、
ゆうちょ銀行 018-0224460(八王子市民放射能測定室)